

## 平成31年度 第1回桜井市地域公共交通活性化再生協議会会議要旨

- 日 時 平成31年4月25日(木) 午前10時から
- 場 所 桜井市立中央公民館 3階 大会議室
- 出席者 協議会委員13名(うち、代理出席者3名) 事務局4名
- 会議内容

挨拶 桜井市副市長 笹谷 清治

### 議案説明

#### 1) 平成30年度の事業報告について(資料1～資料3)

##### 【事務局説明】

- 資料により説明

##### 【意見】

- 上之郷デマンドタクシーについて、平成30年8月1日から火曜日に南コースを追加したが、買物を目的とする利用者から、コースの違うオークワに行きたい、またオークワから乗りたいといった間違いの電話が多くかかってきた。乗降地点の位置関係上、北と南の2コースで別々に運行することは仕方がないことだが、この点については、5月から駅前にヤマトーができるので解決すると思う。

#### 2) 市公共交通再編について(資料4～6)

##### 【事務局説明】

- 資料により説明

##### 【意見】

- デマンド化における業者選定の問題について、桜井市内を運行しているタクシー会社は、日の丸交通、桜井交通、奈良近鉄タクシー、天理タクシーの4社であるが、このうち天理タクシーについては、タクシー協会外になる。また、奈良近鉄タクシーは、4月16日から、電話

やインターネットで予約した場合、迎車料金 150 円を徴収しており、デマンド化にあたっての課題となる。

- バスが走っていたところをデマンド化すると、従来に比べて乗降できる場所がかなり限定的になる。ポイント設定のやり方によっては、今まで利用できていたポイント（停留所）が利用できなくなる場合も考えられる。

(事務局)

- ・業者選定の問題については、貴重な情報をいただいた。今後タクシー協会と条件を具体的に固めていながら、推薦をいただけるよう調整していきたい。
- ・乗降のポイントについては、地域住民に話を聞きながら調整していきたい。利用実態を見ると、集落間の移動は少ないようだが、ニーズを聞きながら設定していきたい。
- 再編時期はいつ頃を考えているのか。フィーダー系統の国庫補助金申請や変更には、書類の作成含め一定の時間を要する。10月からの事業の申請に間に合わせるには、6月末に全て決定しておく必要がある。また、初瀬朝倉台線と西北部循環線、両方の再編を同時に行うのか。
- 次に、サポートプランの記事について、チラシ（時刻表）について触れている部分があったが、路線バスや電車の時刻表、タクシーの連絡先なども記載した総合的な時刻表をぜひ作成していただきたい。業者が広告を集めて発行する形態であれば、市町村は金銭負担なしで発行できる。  
また、奈良交通では、スマホ等でバスの位置がわかるバスロケーションシステムを昨年12月から運用しているが、桜井市コミュニティバスにも4月1日から対応している。この案内についても、チラシを作る際には記載いただきたい。
- 申請時期としては、6月末までに計画を申請していただき、変更があれば変更届出を行っていただく形となる。補助金の全体の流れから考えると、今回の再編については、6月の最初の一年の事業計画にかかる申請にあわせていただいたほうがよいと思うが、大きな再編になるので、十分に議論を行い、検討いただいた上で考えていただければと思う。

(事務局)

- ・今奈良運輸支局から申請時期については柔軟に対応していただけるとお話をいただいた。ご指摘の通り大きな再編になるので、地元調整については、しっかりと時間をとり行った上で、今年の10月を目標として再編を行いたい。新しい行革のアクションプランでも、財政の観点から公共交通にかかる経費については削減を求められているので、できるだけ早期の実現を目指したい。
- ・時刻表については、無償で時刻表を作成する業者もこちらに何社か接触してきている。各市町村の時刻表作成実績についても把握している。電車や路線バス等と連携した総合時刻表の作成については、業者の協力を仰ぎながら取組んでいきたい。また、バスロケーションシステムについても、直接アクセスしてもらえようQRコードなどを時刻表に記載したい。
- 新しい総合的な時刻表は、再編に合わせて作成するのか。時刻表は、地元の方だけではなく、来訪者の利用も考えて、タクシーの番号等も記載し、観光案内所や観光協会などに置いていただきたい。

(事務局)

- ・時刻表については再編に合わせて作成を考えている。来訪者の利用のために、再編の中でも初瀬朝倉台線と多武峯線は残していくという方針になるので、来訪者の観光面でも案内ができるように工夫したいと考えている。
- 補助金申請の時期は6月末ではあるが、利用してもらおう地元の方々と十分に話をして進めてもらいたい。交通の便によっては、一番困るのは地元の方々である。地元の方々が利用しやすいわかりやすい方法で運行すべきである。
- 桜井市も高齢化が進み、民間の公共交通機関が撤退する中で、交通弱者をカバーするためにコミュニティバスやデマンドタクシーを運行しているが、先般の高齢者の事故もあり、高齢者の運転免許自主返納の動きも加速化すると思われる。
- 先般の東京での高齢者の事故を受けて、警察も運転に難のある高齢者の運転免許の自主返納を促すために、タクシー協会などにも協力をい

ただきながら取組んでいるが、コミュニティバスなど市の公共交通が充実していれば、警察も自主返納を促しやすい。

- 上之郷のデマンドタクシーは、通常のタクシーでは 4000 円ほど料金がかかるところを 500 円で市街へ行くことができるということで、利用者の方々はとても喜んでおられる。このような利用者が喜んでおられる部分をうまく再編に活かしていただきたい。